

家主通信
拝見

日本財託 (東京都新宿区)

約9300戸を管理する日本財託(東京都新宿区)はオーナー通信「まめ〜ル」を年に3回発行している。2004年にスタートして第22号まで発行済み。発行部数は3500~7000部、オーナーに郵送するほかセミナーで配布したり、見込み顧客にも配布しているため毎回発行部数が異なる。A4サイズ4ページ立てでオールカラーだ。

メインで制作進行を行うのはオーナー事務局のメンバー。毎号の企画は、事務局がセミナー運営やメルマガ発信などを行うマーケティング部と各部署の代表者数名に呼びかけ会議を開き決定する。

たとえば2011年2月号では「相続税改正」を特集。現行と改正後とで、何がどう変わるのかを図表を用いて分かりや

普段顔の見えない社員の写真を表紙に採用

すく解説している。「オーナー様にとって価値ある情報を、分かりやすく伝えることに毎回苦心している」とオーナー事務局の上村順子氏。相続税対策の具体例も提示することも忘れていない。

毎号表紙は同社の重吉勉社長と社員の写真が飾る。普段、オーナーと直接対面することのない、バックヤードのメンバーなどだ。「電話口などで対応するが直接オーナー様に会えないスタッフの顔を見て親近感を持ってもらいたい」と上村氏。次号の6月号では、毎年恒例の新入社員と重吉社長の写真が掲載される予定だという。

届くのを楽しみしているという声や、社員に親近感が湧いたなど感想をオーナーから言われることも多いという。次号以降は、震災の影響や、更新料訴訟の問題を取り上げる予定だ。

